



令和7年12月6日
統合幕僚監部

中国海軍艦艇の動向について

令和7年12月5日（金）午後2時頃、海上自衛隊は、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）が、久場島（沖縄県）の北約420kmの海域において航行していることを確認した。

6日（土）午前7時頃、クズネツォフ級空母「遼寧」、レンハイ級ミサイル駆逐艦（艦番号「101」）及びルーヤンIII級ミサイル駆逐艦2隻（艦番号「117」及び「124」）の計4隻が、沖縄本島と宮古島との間の海域を南東進し、太平洋へ向けて航行した。

同日、その後、これら4隻の艦艇が沖大東島（沖縄県）の西約270kmの海域を航行するとともに、空母「遼寧」から艦載戦闘機及び艦載ヘリが発着艦したことを確認した。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第6護衛隊所属「てるづき」（横須賀）、第4航空群所属「P-1」（厚木）及び第5航空群所属「P-3C」（那覇）により、警戒監視・情報収集を行った。また、艦載戦闘機の発着艦に対し、航空自衛隊の戦闘機を緊急発進させる等の対応を行った。

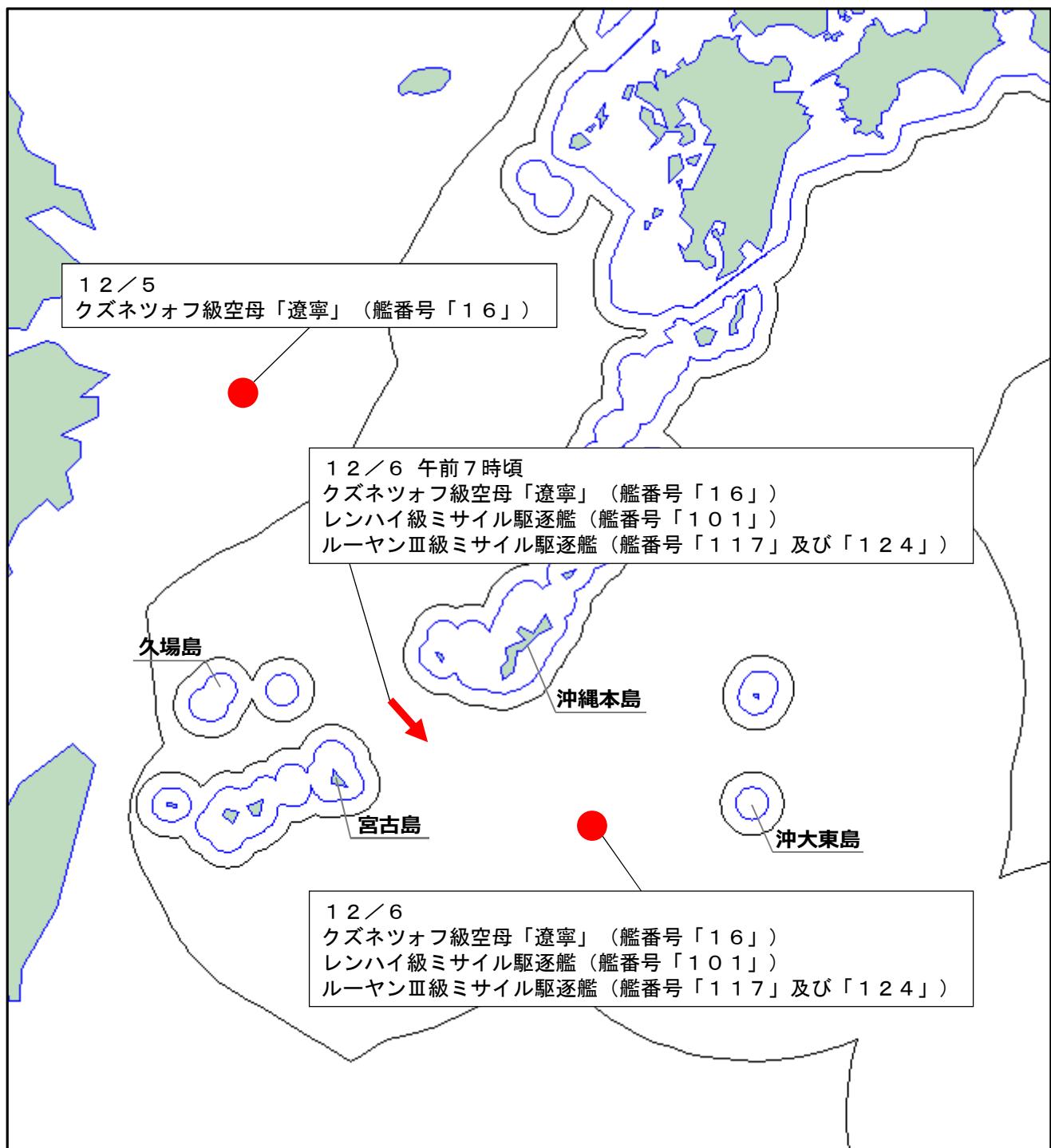
クズネツォフ級空母「遼寧」（艦番号「16」）



ルーヤンIII級ミサイル駆逐艦（艦番号「124」）



行 動 概 要



● → : 中国海軍艦艇